



2009年9月期第3四半期(累計)決算説明会
株式会社エスケーエレクトロニクス

1. 2009年9月期 第3四半期(累計)決算概要

2. 2009年9月期 通期決算見通し

2009年9月期 第3四半期(累計)期間の概況

液晶パネル市場の動向

上半期(2008年10月～2009年3月)

- ・昨秋以降の世界経済の減速の影響を受けLCD最終製品の需要は世界的に大幅に低迷。液晶パネルメーカー各社の稼働率は50%以下まで下落。
- ・パネルの需給は1月を底に回復基調。パネルメーカー各社の稼働率も2月からは回復。
(中国「家電下郷」政策と北米での売行き好調による影響が大)
- ・韓国パネルメーカーの第8世代ライン(増設分)稼働開始。

第3四半期(2009年4月～6月)

- ・シャープ株式会社が大阪府堺市に建設中の第10世代液晶パネル工場の稼働を前倒して、2009年10月より量産開始と発表。
- ・パネルメーカーの稼働率が急回復し、80～100%に到達する会社も数社。
- ・中国BOEが第6世代液晶パネル工場の建設をスタート。
- ・パネル需要急回復により部材、特にガラスが不足している状況。

2009年9月期 第3四半期(累計)期間の概況

当社グループの概況

上半期(2008年10月～2009年3月)

- ・需要低迷により、既存フォトマスク(第8世代以下)は、国内外での更なる競争激化により、想定以上の価格引下げ要求が発生。
- ・対応策として、2009年1月に非常事態宣言を発令。固定費・変動費などあらゆる角度からの構造的コスト削減施策を実施。
- ・2009年2月より滋賀工場の次世代フォトマスクの生産スタート。
3月に初出荷。(滋賀工場の設備償却は2月からスタート)
- ・台湾子会社がパネルメーカーの稼働率改善により中小型マスク受注好調。
- ・多階調マスクの売上が堅調。

第3四半期(2009年4月～6月)

- ・滋賀工場が本格稼働、順調な滑り出し。
- ・第8世代以下のフォトマスクに関しては依然厳しい環境が続く。
- ・引き続き価格引下げ要求は継続。
- ・京都工場既存設備などの除却・減損の実施。

2009年9月期連結第3四半期決算概要

(単位:百万円)

	2009年9月期			累計 08年10月～09年6月
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	
売上高	2,953	2,792	6,445	12,190
営業損益	△627	△ 947	613	△ 960
経常損益	△712	△ 983	591	△ 1,104
四半期純損益	△690	△ 1,103	△ 418	△ 2,211
設備投資費	3,220	7,648	2,949	13,818
減価償却費	628	1,199	1,868	3,695
研究開発費	192	73	55	320

特別損失の発生について

①固定資産除却損の計上(203百万円)

京都工場の中小型対応ラインの製造設備などの稼働状況等を勘案

- ・当第3四半期にて、当該設備等の除却を実施。
- ・これにより、第4四半期以降のコスト削減とラインの採算性向上を実現。

②減損損失の計上(697百万円)

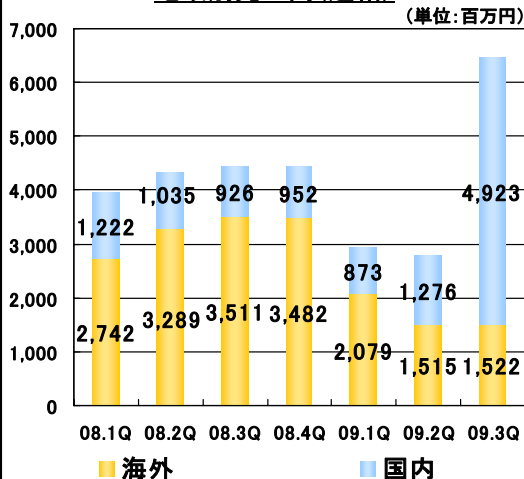
京都工場の中小型対応ラインの将来獲得収益を基準とした回収可能性を検証。

- ・一部設備において、回収可能額まで帳簿価格を減額。
- ・これにより第4四半期以降の減価償却負担の軽減を実現。

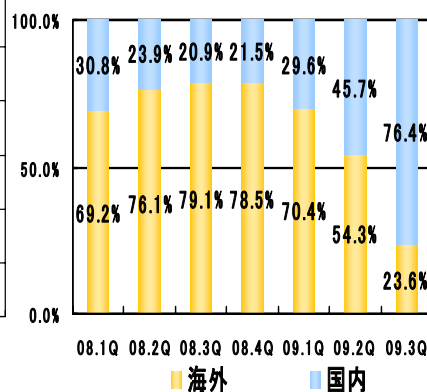
地域別フォトマスク売上高の推移

滋賀工場の稼働により国内の売上比率が増加

地域別売上高(連結)



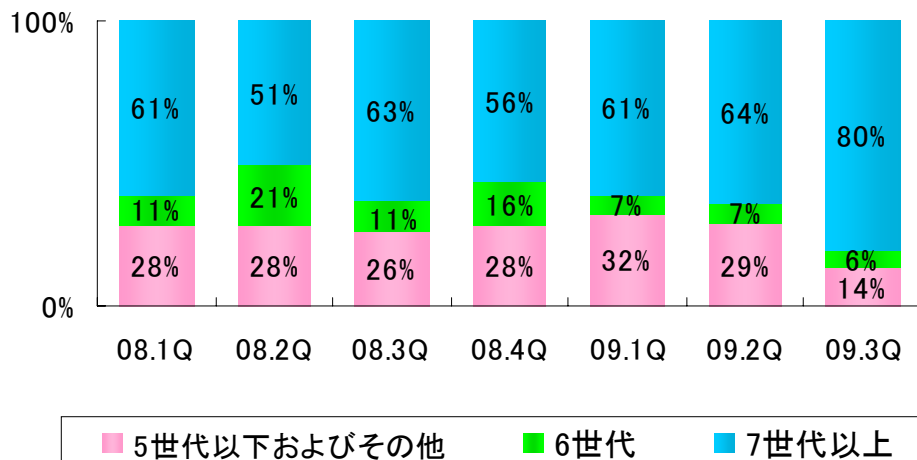
構成比(連結)



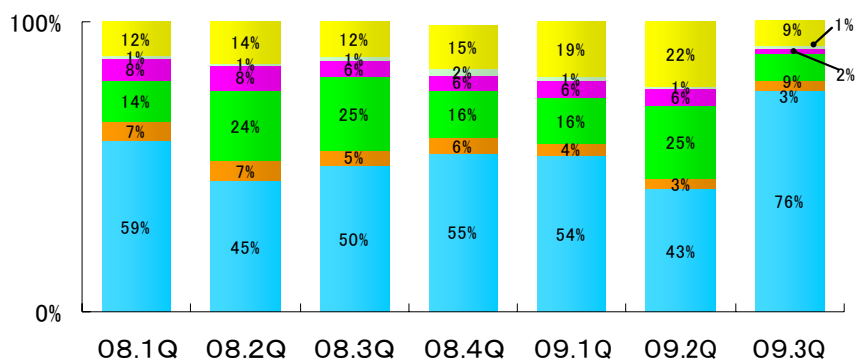
(注)海外向け売上高は間接輸出売上高を含んだ数値となっております。

世代別フォトマスク売上高比率

滋賀工場の稼働により大型の売上比率が増加



アプリケーション別フォトマスク売上高比率



■ テレビ ■ パソコン ■ モニター ■ 携帯 ■ 車載 ■ その他

連結貸借対照表

(単位: 百万円)

連結B/S	2008年6月	2008年9月	2009年6月	前期末比
(資産合計)	26,672	25,709	33,873	8,164
現金及び預金	2,049	2,167	2,158	△ 9
受取手形及び売掛金	3,829	3,942	7,312	3,370
原材料及び貯蔵品、仕掛品計	2,328	2,180	2,384	204
その他(流動資産)	830	783	1,281	498
有形固定資産	16,907	15,985	20,165	4,180
無形固定資産	308	316	314	△ 2
投資その他資産	417	333	258	△ 75
(負債合計)	13,308	12,500	23,568	11,068
支払手形及び買掛金	3,633	3,336	4,538	1,202
短期借入金	600	600	778	178
1年以内返済予定の長期借入金、長期借入金計	7,192	6,757	15,844	9,087
その他(負債)	1,883	1,806	2,407	601
(純資産合計)	13,363	13,209	10,305	△ 2,904
自己資本(株主資本、評価・換算差額等計)	11,394	11,324	8,769	△ 2,555
自己資本比率	42.7%	44.0%	25.9%	-18.1%
有利子負債残高	8,472	7,952	16,958	9,006

キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	08年9月期 第3四半期(累計)期間	09年9月期 第3四半期(累計)期間
営業活動によるキャッシュフロー	3,717	△1,021
投資活動によるキャッシュフロー	△4,216	△7,838
フリーキャッシュフロー(営業CF+投資CF)	△499	△8,859
財務活動によるキャッシュフロー	955	8,924
現金及び同等物の期中増加額	450	△9
現金及び同等物の期末残高	2,049	2,158

- ・四半期純損失及び滋賀工場稼働に伴う運転資金増により営業キャッシュフローはマイナス。
- ・滋賀工場設備資金の支払いが第3四半期累計で約78億円発生し、フリーキャッシュフローは大きくマイナス。
- ・これらのマイナスをカバーするために「シンジケートローン」の借入れを実行し、現金及び同等物の残高維持。

1. 2009年9月期第3四半期(累計)決算概要

2. 2009年9月期 通期決算見通し

2009年9月期 第4四半期の見通しについて (2009年7月～9月)

液晶パネル市場の動向

- ・シャープ株式会社の第10世代液晶パネル工場(堺工場)は10月稼働に向けて最終準備中。
- ・液晶パネルメーカーは、現在ほぼフル稼働状態だが、早ければ9月以降パネルが供給過剰になる可能性有。
- ・アメリカのデジタル放送切り替え需要継続、中国の「家電下郷」、「以旧換新」政策によるテレビ需要増加に期待。

当社グループの概況

- ・第10世代液晶パネル工場稼働準備のための第10世代用フォトマスクの需要。
- ・第8世代以下の需要回復が見込めるかどうかキとなる。
- ・パネルの供給過剰によるパネルメーカーの稼働率低下の懸念もあり、引き続き先行き不透明な状況。

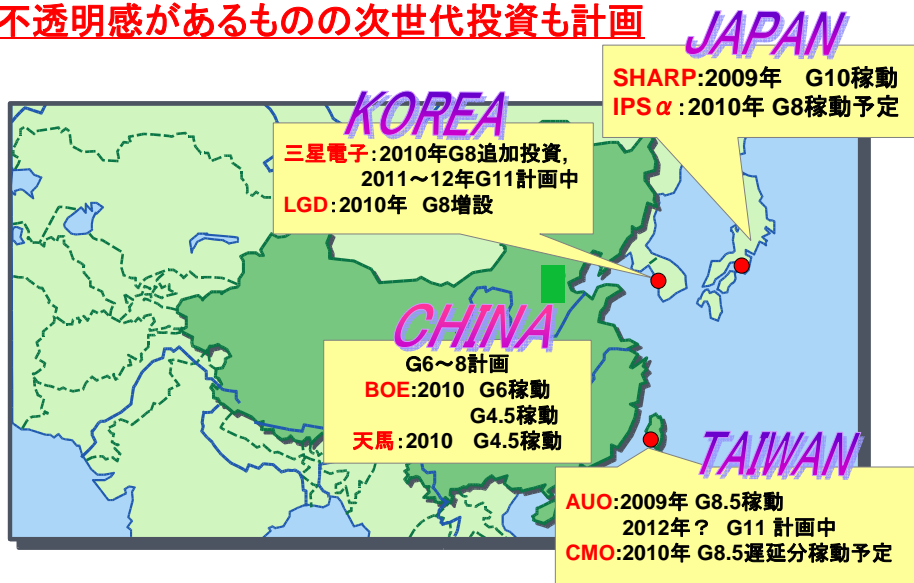
2009年9月期 通期連結業績予想

(単位:百万円)

	2008年9月期 通期 (実績)	2009年9月期 通期 前回予想(2月9日)	2009年9月期 通期 (予想)	前回予想比 増減率 (%)
売上高	17,161	17,000	18,500	8.8
営業損益	1,046	△1,600	△1,000	37.5
経常損益	886	△1,800	△1,150	36.1
当期純損益	417	△1,540	△2,300	△49.4
設備投資	775	14,400	14,400	—
減価償却費	2,665	5,400	5,500	1.8
研究開発費	246	370	370	—

TOPICS FPD市場について(全般)

不透明感があるものの次世代投資も計画



2009年9月期第3四半期(累計)決算説明会
株式会社エスケーエレクトロニクス